

## 第28回 緑の市民懇話会 会議録（要旨）

1 日 時 平成25年 5月 2日（木） 13：30～15：30

2 場 所 401・402会議室

3 出席者

（委員） 久座長、下村委員、磯貝委員、稲葉委員、大鋸委員、倉品委員、児玉委員、林原委員、日高委員、山田委員、岩井委員、北島委員

（事務局） 山本都市整備部長、中井みどり景観課長、中川花のまちづくりセンター所長

巽みどり景観課緑化推進係長、坂東みどり景観課主任、大澤みどり景観課

4 議事内容

1 開 会

2 案 件

（1）平成25年度みどり景観課所管の緑化推進に係る事業概要について

（2）保護樹木等要綱の改正について

（3）第6回花と緑の景観まちづくりコンテストについて

（4）その他

5 議事録

（1）平成25年度みどり景観課所管の緑化推進に係る事業概要について

### **[事務局説明]**

・別紙「資料1」にて説明。

### **[委員意見等]**

・特になし。

（2）保護樹木等要綱の改正について

### **[事務局説明]**

・別紙「資料2-1」及び「資料2-2」にて説明。

現行の規程について、「要綱」と「要領」で構成されている。「要綱」は指定の目的や管理、助成の大筋について、「要領」は指定の基準、助成の内容、その他手続き関連を定めている。改正案については「指定要綱」と「補助金交付要綱」という構成とした。

### [委員意見等]

・保護樹木の候補として20件あったと思うが、事務量が増えるのではないか。可能性として何件指定の予定か。(発言)

これからその20件の所有者等と交渉をするので、今のところ最大20件と考えている。

### (3) 第6回花と緑の景観まちづくりコンテストについて

### [事務局説明]

・別紙「資料3」にて説明。

### [委員意見等]

・審査の時期は例年どおりなのか。一番早い時期に行けたらよいのだが。(発言)

・毎月審査するのがベストだが、現行では一番花にとって厳しい時期に審査しているのが問題である。その時期をずらすことができるのか。(発言)

・応募してくる人は一番良い時期に来てほしいはず。良い時期に合わせてこちらが行くようにするべきではないか。(発言)

・年間を通して綺麗かどうかは確かに大切だが、やはり応募する人は一番良い時期に見てほしいと思う。それなのに一番悪い時期に行くのは失礼に当たるのではないか。(発言)

昨年と同じ時期に募集をかけたので、今年は花の咲いた時期に審査に行くのは難しい。花の咲いている時期だけを評価するのではない。咲いていない時期でも綺麗にしていることに値打ちがある。来年度は前倒しにして募集し、花の綺麗な時期に審査できるように考えたい。

・現地審査の時期を明記するほうが親切ではないか。(発言)

・その都度見に行って合わせて審査するのはいかがか。(発言)

思い起こす必要があり難しい。

・今までの写真審査を写真コンテストに変えてしまうのはいかがか。(発言)

景観まちづくりコンテストであって、写真コンテストではないので、やはり現地審査は必要ではないか。

・表彰を秋のイベントに合わせているが、春のイベントに合わせるようにすればよいのではないか。(発言)

・秋植えで春に咲くようなものは対象になるのか。写真の出来栄だけのコンテストにならないか(発言)

・秋の花は応募できないので、2期制にして春秋バージョンにしてはいかがか。その場合表彰は1回でもよいかがいかか。(発言)

景観まちづくりコンテストなので、花のコンテストではない。「花」と「緑」なので、「緑」で応募いただいたら、今の時期なら花木がある。「花」だけでなくトータルで考えてもらいたい。

・もっといろんなバリエーションの花と緑があったほうがよい。壁面緑化等の工夫もみたい。アイデアが湧いてくるような応募があってもよい。(発言)

- ・手入れの努力を見ている部分もある。(発言)
- ・応募期間に4ヶ月も必要なのか。申請期間をもっと短くし、市民ボランティアで回ってはいかがか。(発言)
- ・実際にある良い景観よりも、応募件数が少ないため、もっと応募者を増やすように工夫をするべきである。他市の状況を見てみると、初期の目標を達成したため、今は開催していないところもあるようだ。(発言)  
今年の分が終わってから一定の方向性を出す。

#### (4) その他

##### [事務局説明]

- ・「花とみどりの楽校」について、別紙「資料4-1」にて報告。  
運営スタッフにおいては今年度からボランティアスタッフが主になっていただく。
- ・「花とみどりの楽校(里山づくり編)」について別紙「資料4-2」にて報告。  
「花とみどりの楽校(里山づくり編)」に関しては、今回30人の募集に対して、42人の応募があったので抽選を行った。今後の予定として、平成25年度は行わず、2年に1回で考えている。

##### [委員意見等]

- ・「花とみどりの楽校(里山づくり編)」について、今回募集を上回る応募があったため、抽選で30人に絞っている。実務との兼ね合いだとは思いますが、今後はできるだけ受け入れるというのはいかがか。(発言)  
講師の先生方とも相談させていただいた。講義であれば、100人でも120人でも受け入れられるが、グループワークをすとなれば30人が限界である。また、フィールドワークにおいては、人が多くなればなるほど荒れてしまうということもあり、やはり30人が限度である。
- ・「花とみどりの楽校(里山づくり編)」については、あまりボランティアの養成講座である旨のPRをしていなかった。強制や強要はできないが、もっと前面に出していてもよいのではないか。(発言)
- ・講座の受講生には次へのステップとして団体紹介を行うが、チラシと説明だけでなく、実際に来ていただいてお話するのがよいのではないか。(発言)  
運営スタッフはボランティアスタッフが主になっていただき、身近に話ができるようになっている。

< 次回の日程について、10月4日を予定 >